

# 《 マテリアリティ 》

当社では、「世のため、人のため、地球のため、社員のため、持続可能な社会を創造します」を経営理念として事業を行っています。

この度、当社が取組むべき事項6つを特定しました。

これらについて中長期的な視点で、社会の持続可能な成長と企業価値向上のため、取組みを推進することとしました。



## ◆ マテリアリティ特定プロセス

事業活動による社会的な影響や、社会の情勢が当社に与える影響、そしてステークホルダーが当社に求めるものについて、幅広い社会課題から絞り込みました。そしてその中で特に影響度・優先度の高いものを当社のマテリアリティと位置づけ、分析を行いました。今後は特定したマテリアリティに基づき、取組み等を設定し、PDCAサイクルを回して進捗管理を行ってまいります。また、本マテリアリティは社会情勢の変化や経営戦略の変更等により、継続的に見直しを行います。



## ◆ 特定したマテリアリティ

経営理念	マテリアリティ (重要課題)	取組み事項	
<b>経営理念</b> 世のため 人のため 地球のため 社員のため 持続可能な 社会を 創造します	世のため (社会) 法令遵守の徹底と 公正・公平な経営の 実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「優良産廃処理事業者認定制度」への対応</li> <li>● 健全性・効率性及び透明性を高めた経営体制の構築</li> </ul>	
	人のため (地域住民) 地域社会の 安心・安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拠点展開による地域経済への貢献</li> <li>● 振動・騒音・粉塵等への対策並びに工場災害・事故の防止による地域住民の生活環境の保全</li> <li>● 災害廃棄物の受け入れ等災害時連携の推進</li> <li>● 地域清掃活動等による社会奉仕活動の実施</li> </ul>	
	地球のため (地球環境) カarbonニュートラル 社会の実現	資源循環社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リサイクル量拡大により社会の廃棄物発生削減に貢献</li> </ul>
		再エネ・CN燃料・EV等導入、及び省エネによる自社のCO <sub>2</sub> 発生量の削減 パイオマス発電(再生可能エネルギー)拡大への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再エネ・CN燃料・EV等導入、及び省エネによる自社のCO<sub>2</sub>発生量の削減</li> <li>● パイオマス発電(再生可能エネルギー)拡大への貢献</li> </ul>
	社員のため (従業員) 労災・事故のない 職場環境づくり	誰かが働きやすい 職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 労働災害の発生防止</li> <li>● 安心・安全・快適な職場環境の整備</li> </ul>
		誰かが働きやすい 職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ダイバーシティ、働き方改革の進展</li> </ul>